

3部

9月
科目修了試験の
ご案内

1 // 9月科目修了試験の受験申込み

2019年度第3回科目修了試験をp. 17～18の日時・会場で実施します。

試験実施日	申込締切・ レポート締切日	受験通知書 到着予定日	成績通知（履修 状況票）発送予定
9 / 7 (土)・ 9 / 8 (日)	8 / 21 (水) 必着	8 / 28 (水) ※ 8 / 28 までに届かない場合は 8 / 29 午前中までに通信教 育部までご連絡ください。	10 / 8 (火)

※受験科目の追加は8 / 22(木)午前まで、受験会場の変更は8 / 29(木)午前まで受け付けます。

2 // 科目修了試験に関するご案内

- 申込・受験上の留意点 → 『学習の手引き』4章2節または7章
- 教科書持込可科目 → 受験通知書にてご確認ください
- 自筆ノート持込可科目 → 受験通知書にてご確認ください
- 卒業試験について → 『学習の手引き』7章または5章
- 試験結果通知後「不可」の理由が不明の場合 → 『学習の手引き』4章1節または6章「担当教員への質問」の利用が可
- 本学職員への学習相談可能な会場 → 仙台
- メールによる問合せ先 → ut@tfu-mail.tfu.ac.jp（結果照会は不可）

3 9月科目修了試験の実施日時・会場

会場地図 → 『試験・スクーリング情報ブック2019』 p. 92～107、本冊子 p. 18参照

日時	都市名	会場名
9 / 7 (土) 13 : 30集合	仙台 (注1)	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
	札幌	かでの2・7 10階1060会議室
	盛岡	アイーナ 8階会議室803
	山形	山形テルサ 3階研修室A
	郡山	郡山商工会議所 4階 4-2会議室
	東京 (注2)	東北福祉大学 東京サテライト (四ツ谷)
	長岡 (注3)	長岡こども福祉カレッジ 1号館
	静岡	静岡県産業経済会館 3階第1会議室
	福岡	博多市民センター 4階第2会議室
9 / 8 (日) 9 : 45集合	仙台 (注1)	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
	帯広 (注4)	帯広市民文化ホール 3階第1会議室
	青森	アスパム 5階白鳥
	秋田	秋田県生涯学習センター 5階第3研修室
	宇都宮	栃木県総合文化センター 3階第3会議室
	東京 (注2)	東北福祉大学 東京サテライト (四ツ谷)
	新潟 (注3)	新潟医療福祉カレッジ 2号館
	大阪	日本研修センター 十三 3階小会議室D

(注1) いずれか一方の日程のみ受験可。使用教室は当日の案内掲示板を参照。

(注2) いずれか一方の日程のみ受験可。集合時刻の40分前までには開室予定。

(注3) スリッパ等の上履きをご持参ください。

(注4) 『試験・スクーリング情報ブック2019』記載の会場から変更となりました。(詳細 p. 18参照)

時間割	9 / 7(土)	9 / 8(日)
	13 : 30集合会場	9 : 45集合会場
1 科目め	13 : 45~14 : 30	10 : 00~10 : 45
2 科目め	14 : 30~15 : 15	10 : 45~11 : 30
3 科目め	15 : 15~16 : 00	11 : 30~12 : 15
4 科目め	16 : 00~16 : 45	12 : 15~13 : 00

帯広会場 帯広市民文化ホール

住 所 〒080-0015帯広市西5条南
11丁目48- 2

電 話 0155-23-8111

交通アクセス JR帯広駅南出口よ
り徒歩5分。車の場合は、長崎
屋帯広店3階・5階・屋上駐車
場を利用することができます。

駐車場 あり (有料)



4 // 8月Web科目修了試験 受験申込み

2019年度第2回Web科目修了試験を下記のとおり実施します。

試験日 (時間は19:30～ 20:15)	申込 開始日	申込締切日・ レポート提出締切日	受験 通知日	評価登録日
第2回: 8/8(木) [予備日 8/9(金)]	7/17(水)	7/30(火)	8/2(金)	受験後 1週間以内

※詳細につきましては、『With』137号 p. 19～21参照

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●社会福祉援助技術演習A 君島 昌志ほか

- ・グループワークでさまざまな着目点からの話がきけて、おもしろかった。
- ・自分の考えをもちつつ他者の意見を聞き、尊重しまとめるのは改めて大変だと感じた。
- ・アルコール依存症のケースは、当事者の思いが理解しづらく介入方法が全く思いつかなかった。人の気持ちをイメージすることを日頃からしているが、とても難しかった。

●社会福祉援助技術演習B 石附 敬・関川 伸哉

- ・言葉をただ知っている段階では意味がなく、それを説明できてはじめて知識といえるということを実感した。
- ・現場で働く人間として、実践するためにも基礎学力をつけることはとても重要であると同時に、常に学び続ける姿勢が大事だと感じた。
- ・グループワークなどで意見を交換し合うことで、自分と違う視点での考えを聞くことができ、他者の考えを取り入れることの重要性に気付いた。

●社会福祉援助技術実習指導B-1+演習C-1 田中 治和・三浦 剛ほか

- ・ひとつの事例に対して、教員や学生など人の数だけ考え方や視点が違うということを実感し、それはおもしろいことだと感じた。
- ・クライアントのもっている能力をいかした支援を目指すことの大切さ、意義を学ばせていただきました。
- ・実習記録を想像しながら書いてみることで、自分なりに実習をイメージすることができた。

●社会福祉援助技術実習指導B-2 三浦 剛ほか

- ・実習に向けて、どういう態度で臨まなくてはならないかを改めて考えることができてよかった。
- ・先生方が親切に相談にのってくださり、今後の実習へ向けて頑張ろうという気持ちになれた。
- ・学びの場を大いに活用して、幅広い視点で物事を捉えていきたいと感じた。
- ・実習に向けて、もっと実習先について学ばなければと考えさせられた。
- ・同じような不安や疑問をもつ学生がいて、自分だけではないと思えたことがよかった。
- ・実習前の不安が少し解消され気持ちが楽になりました。先生のご指導と実習に向かう皆様のお話を原動に、自分のすべきことをやっていきたいです。